



「呉・瀬戸内スポーツブランディング推進事業」における
キャッチフレーズの決定について

昨年10月20日から12月20日まで募集しておりました「呉・瀬戸内スポーツブランディング推進事業」のキャッチフレーズには、32都道府県から257通の応募がありました。

その中から事務局により一次審査で29通に絞り、審査員による2次審査を行い、次のとおり決定しましたので資料提供します。

最優秀賞 1名 (SPORTS & WONDER KURE ロゴ入りTシャツ, マグカップ, トートバッグ)

「走って、漕いで、呉に恋。」 神奈川県横浜市 杉本寛明 様

審査員の声・語呂がいいのと、漕いでという言葉が新鮮でした。

- ・スポーツを連想させるワードと、呉を連想させる表現もしている。
- ・スポーツから呉という街を好きになるという短い中にも様々な想いが詰まっているキャッチフレーズだと感じました。

●優秀賞 1名 (SPORTS & WONDER KURE ロゴ入りTシャツ, マグカップ)

「日がクレるまで、アソビ尽くせ。」 神奈川県横浜市 杉本寛明 様

●特別賞 3名 (SPORTS & WONDER KURE ロゴ入りTシャツ)

「呉で全力100%」 広島県広島市 柏原清純 様

「スポ旅しに行こ！さぁ、呉へ！」 広島県広島市 沓水香織 様

「君のとなりにスポーツがある、呉」 広島県広島市 今弘高正 様

審査員

カミガキ ヒロフミ (IC4DESIGN 代表)

藺田 大 (呉市スポーツ振興課長)

楨岡 達真 (呉市体育協会会長)

多田 博 (呉市観光振興課長)

菅原 礼美 (月刊くれえばん編集長)

飛垣内 信治 (呉市秘書広報課長)

下野 隆司 (特定非営利活動法人 SYL 理事長)